

令和7年6月24日（火）に、令和7年度新潟県東支部通常集会・講演会を対面方式で行いました。物価高騰のおり少しでも皆さんから頂いている会費を有効に使用したいとの思いで、今年度は会場を永年利用してきた中央区のホテルから新潟テルサに変更し行いました。



日時 令和7年6月24日（火）

テーマ みんなで考えよう！  
身体拘束最小化戦略

講師

長岡中央総合病院認知症看護特定認定看護師  
（新潟県認知症看護認定看護師会会長）

栗和田 直輝 先生

新潟南病院 認知症看護特定認定看護師  
（認知症看護認定看護師会副会長）

古川 望 先生

令和6年度の診療報酬改定で組織的に身体的拘束を最小化する体制を取ることが定められ、経過措置を経て令和7年6月1日から全ての病棟・病室での施設基準として義務化されました。実際現場では身体拘束に対する悩みもある中で、今回のテーマは非常に関心が高く86名の参加がありました。「身体拘束最小化チーム」で活動をしている2施設の先生から自施設での取り組みや成果、現状について講演して頂きました。講師の先生方は認知症ケアでの現場経験が豊富であり、具体的な活動内容の講演でした。アンケート結果からも自施設でも直ぐに取り組み始める等、参加者の満足度が高い講演となりました。

新潟県東支部では、会員の皆さまのニーズに応じた講演会を企画したいと考えております。テーマの希望など、ご意見・ご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。